

2019年7月27日～2019年8月2日

2019年8月6日

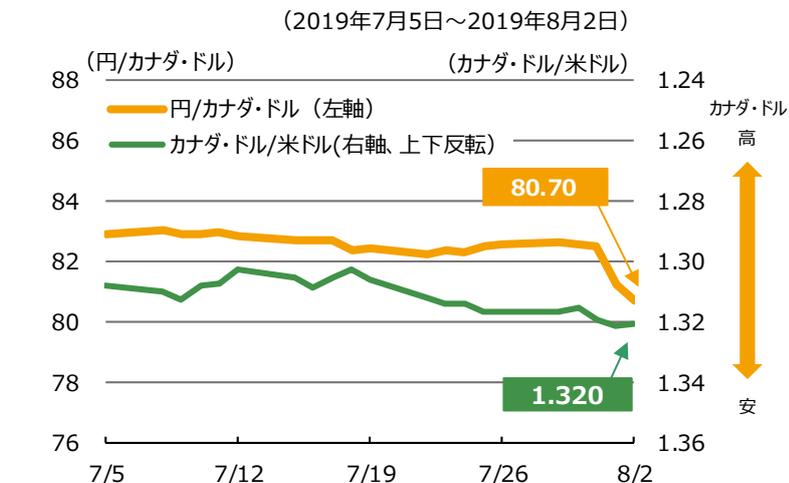
先週の回顧

カナダ・ドルは、対円で下落しました。また、カナダ5年国債利回りも低下しました。

カナダの金利に関しては、トランプ米大統領が中国に対する追加関税の実施（9月1日より）を表明したことを背景に、投資家のリスク回避姿勢が強まり、低下しました。通貨に関しても、金利の低下や原油価格の下落を受けて、対円で値を下げました。

経済指標では、貿易収支、GDP（国内総生産）が発表になっています。貿易収支に関しては赤字予想に反して、結果は黒字となり、GDPも予想を上回る良好な数値が発表されています。

カナダ・ドル 為替推移



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

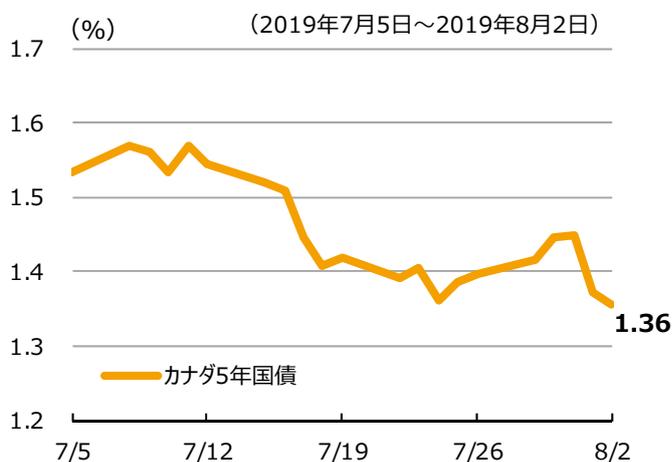
(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

今週の見通し

今週、カナダでは複数の住宅関連指標の発表が予定されています。また、雇用統計の発表が予定されており、雇用者数に関しては、前回から増加することが予想されています。

足元では、米中貿易戦争が市場を揺るがしており、中国は米国への報復措置として中国企業の米農産物の新規購入停止や人民元安の容認などを打ち出しています。それを受け、世界的に株価や原油価格が下落していることが、カナダの通貨、金利の上値を抑えそうだとみています。

カナダ 金利推移



(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和投資信託が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。